

サーボプレス「H1F110-2」「H1F150-2」アップグレード機受注開始

今般、コマツ産機主力商品であるサーボプレス機「H1F200-2」のアップグレード機に続き、「H1f110-2」および「H1F150-2」のアップグレードモデルの受注を開始しましたことをお知らせいたします。本機は、従来機の優れた特徴を維持しつつ、プレス速度の向上、高精度制御の進化および ICT 機能の充実を図ったモデルです。これにより生産性・加工精度・操作性を大幅に向上させ、お客さまの現場における加工品質と生産性の向上に貢献します。

コマツ産機は、小型サーボプレスを業界で初めて市場導入して以来、常に技術革新をリードしてきました。今後も長年培ってきた技術と先進 ICT を融合した『H1F-2 シリーズ』により、お客さまのものづくりの高度化を支援していきます。

[主な商品の特徴]

1. プレス速度向上による生産性改善

H1F110-2 は最大ストローク数を従来機の 70spm から 78spm に、H1F150-2 は 60spm から 68spm に向上しました。従来モデルのロングストロークを維持しながら加工時間を短縮し、生産性向上に貢献します。

	従来機	当該機
H1F110-2	70SPM	78SPM
H1F150-2	60SPM	68SPM



※掲載画像はH1F200-2アップグレード機です。
H1F110-2/150-2アップグレード機とは
仕様および外観が一部異なります。

2. 操作パネル大型化による操作性向上

操作パネルを従来機比約 3 倍の 15 インチに拡大し、新型コントローラーにより視認性を向上させるとともに、直感的な操作を実現しました。また、荷重線図監視機能により、能力線図・偏心荷重線図・荷重波形の表示および基準波形との比較が可能となり、異常の早期把握に貢献します。

3. 高精度制御技術による加工品質の安定化

リニアスケールによる下死点監視・補正に加え、実荷重・実位置によるフルクローズドフィードバック制御により、荷重精度 $\pm 10\text{kN}$ 、位置精度 $\pm 10\mu\text{m}$ を実現し、加工のばらつきを抑制します。

4. ICT による設備状態の可視化

「産機 Komtrax」の「成形支援パック・過負荷モニタ」を標準搭載し、成形荷重や偏心荷重を可視化することで金型摩耗や製品精度に影響する要因の早期検知を支援します。

[商品概要]

機種			H1F110-2		H1F150-2	
フレーム形状			C フレーム	O フレーム	C フレーム	O フレーム
加圧能力	kN		1100	1100	1500	1500
ストローク数	spm		78	78	68	68
ストローク長さ	mm		200	200	250	250
ダイハイト	mm		350(標準)/ 380(ロング)		420(標準)/ 450(ロング)	
スライド 寸法	左右	mm	620	700	700	820
	前後	mm	530		550	
ボルスタ 寸法	左右	mm	1100	900	1100(標準)/ 1250(ロング)	1070
	前後	mm	680	—	760	—
	厚さ	mm	150	—	165	—

[発売開始]

2026 年 9 月

[公表価格 (消費税・据付費別)]

110-2 C フレーム 2,309 万円～

150-2 C フレーム 2,552 万円～

[商品に関するお問い合わせ先]

〒920-0225 石川県金沢市大野町新町 1 番地 1

コマツ産機株式会社 営業本部 営業管理部 管理グループ

TEL:076-293-4209 FAX:076-293-4354

URL: <https://sanki.komatsu/>

※ニュースリリースに記載されている情報は発表時のものであり、予告なしに変更される場合があります。